



Neb:O

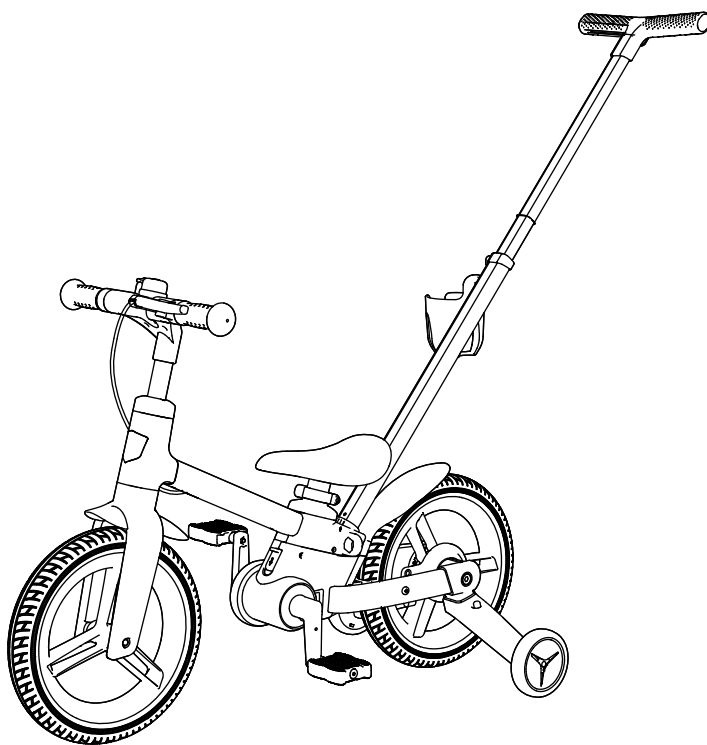
5way キッズバイク

取扱説明書

保証書付き

対象年齢：2～6歳

耐荷重：40kg



このたびは「5way キッズバイク」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品を安全に正しく使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解
して使用してください。お読みになった後も手元に置き、大切に保管してください。



目次

■ 目次	2
■ 使用上のご注意	
▪ 表示について	3
■ 開梱と部品のご確認	4
■ 各部の名称	5
■ 各使用モード	6
■ 組立て方法	7
■ 折りたたみかた	
▪ 折りたたみ前の準備	11
▪ 折りたたみかた	12
▪ 開きかた	12
■ サポートバーの使いかた	
▪ 高さ調節	13
▪ カップホルダーの取付け	13
■ ブレーキの調節方法	14
■ その他	
▪ ペダル収納	14
■ 走行前の点検ポイント	15
■ 製品情報	
▪ 本体サイズ・仕様	16
■ 保管方法	16
■ 廃棄方法	16
■ MEMO	17
■ 保証書	19

ご使用いただく前に

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

警告

- ・乗車は必ず保護者同伴のうえ、車の往来のない安全な場所で行ってください。
- ・本製品は道路交通法上では自転車などが該当する「軽車両」ではなく「遊具」になるため公道での走行はできません。公道での走行は禁止です。
- ・お子さまの安全を守るためにもヘルメットの着用を徹底してください。

注意

- ・保護者の方は本取扱説明書を必ずお読みいただき、本書を大切に保管してください。
- ・組立ては必ず保護者の方が行ってください。
- ・ご使用前に点検を行ってください。
- ・お子さまが乗車中は絶対に目を離さないでください。
- ・お子さまが乗車中に使用モードを切り替えないでください。
- ・公道、すべりやすい路面や濡れた路面、水たまりやプール、凹凸のある路面、階段・エスカレーター等での使用はおやめください。

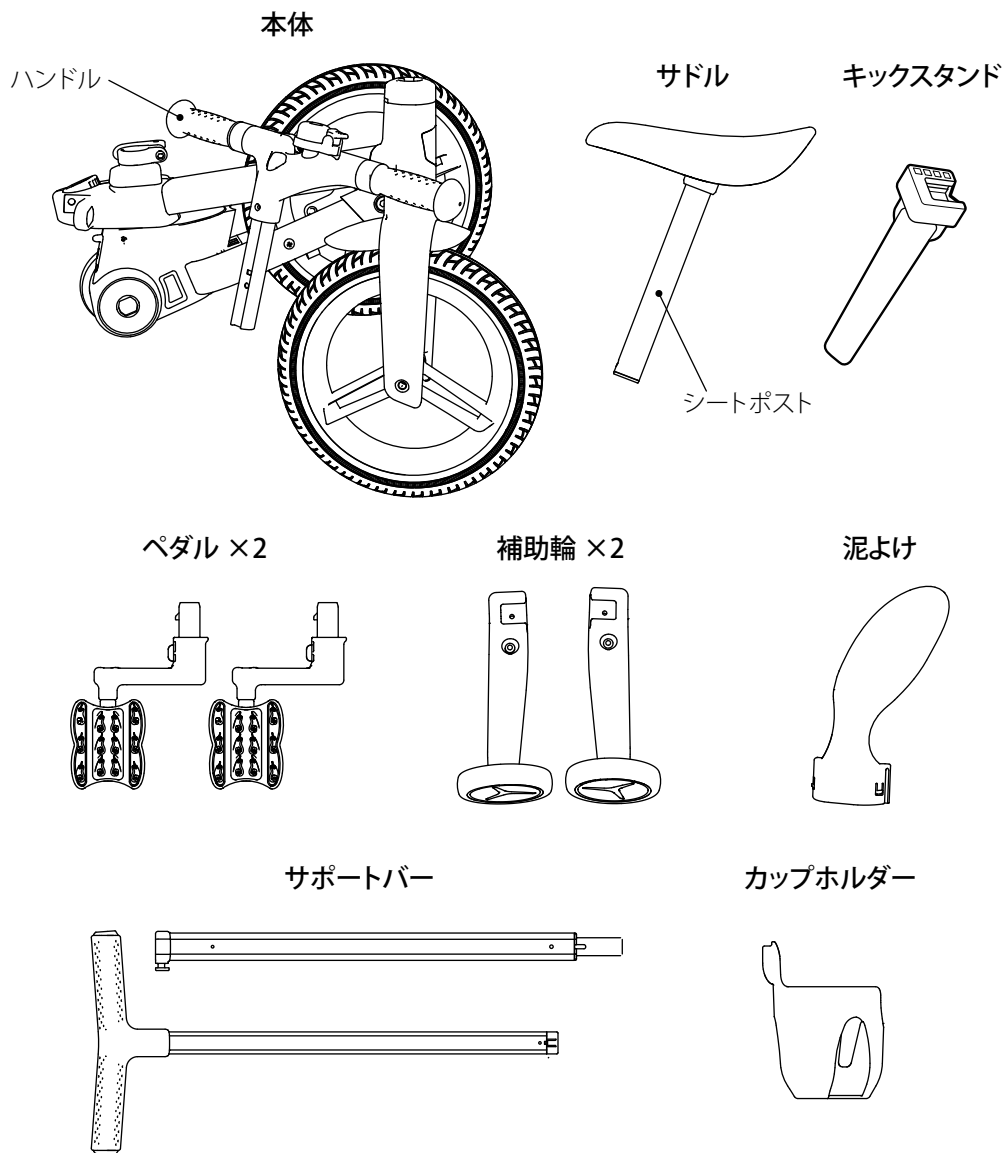
また、事故が起きそうな危険な場所での使用もおやめください。

- ・急な坂道では乗車させないでください。できるだけ平坦で広い場所で乗車させてください。
- ・2人乗り乗車など危険な乗り方はさせないでください。
- ・サドルを最下部まで下げた状態で、地面に両足が届かないお子さまは乗車させないでください。
- ・本製品の耐荷重は 40kg です。40kg を超えるお子さまの乗車、また大人の方の乗車をおやめください。
- ・お子さまの安全のため、長袖・長ズボンの着用、プロテクターの装着をおすすめします。靴は運動靴など滑りにくいものを履かせてください。サンダル・素足では乗車させないでください。
- ・ハンドルに荷物やバッグなどを掛けないでください。安定感を損ない危険です。
- ・各パーツが緩んだ状態で使用しないでください。
- ・屋外で保管される際はカバーをかけるなどして、直射日光を避け、雨ざらしにならないよう注意してください。劣化や退色を早めるおそれがあります。
- ・火気のあるところや高温の場所には近づけないでください。
- ・小さな部品が含まれていますので、お子さまが誤飲しないようご注意ください。

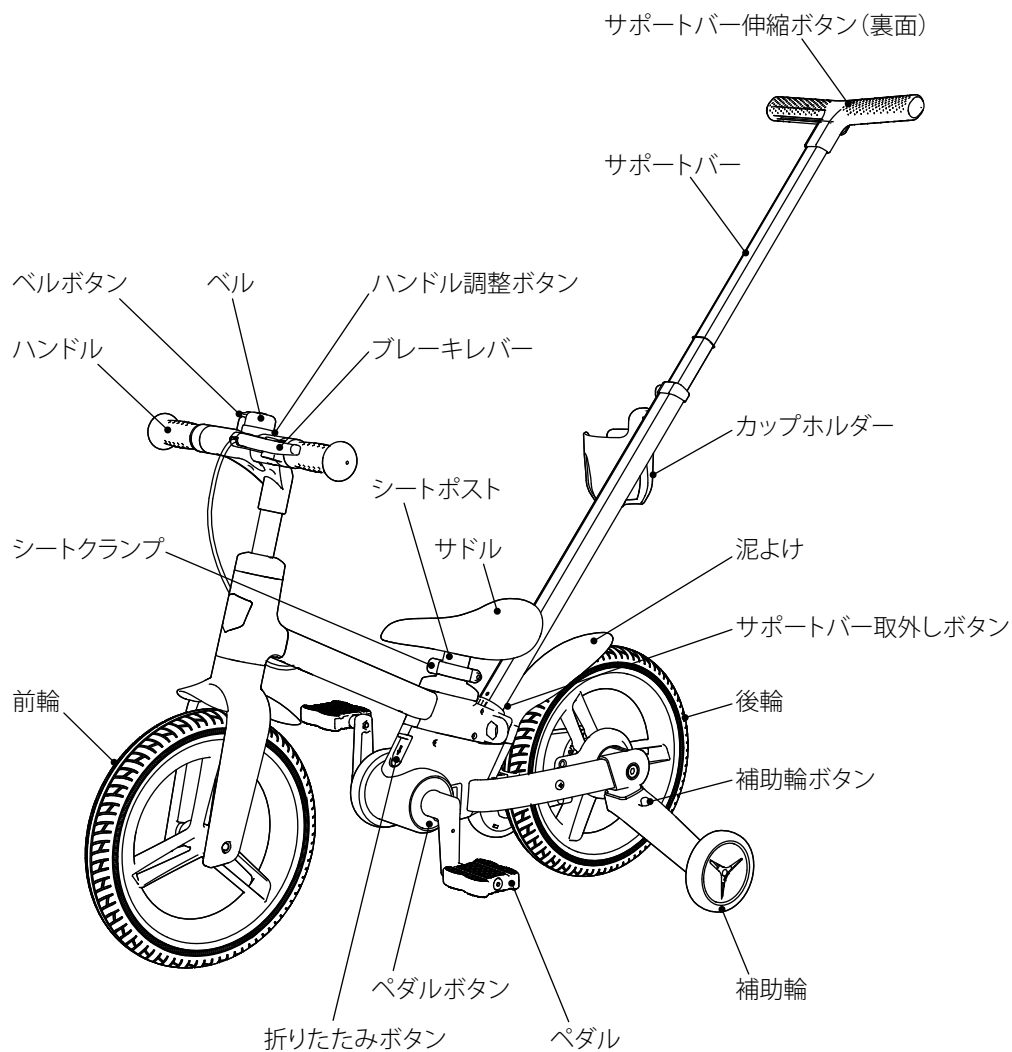
開梱と部品のご確認

組立てる前に、下記のパーツと付属品が全てそろっているかをご確認ください。不足している部品や、破損している部品がある場合は、販売店にご連絡ください。

取扱説明書／保証書（本書）

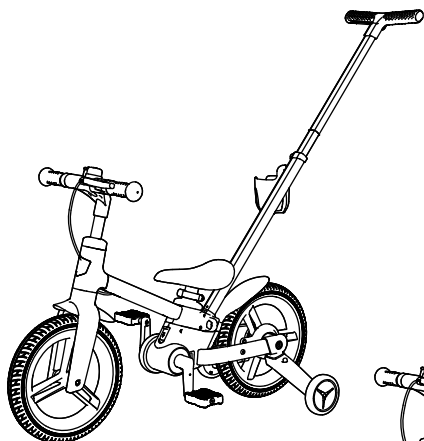


各部の名称

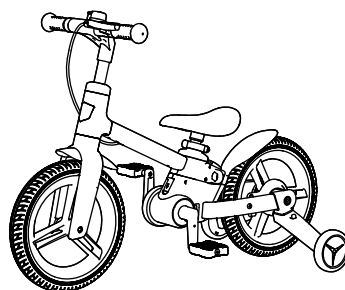


各使用モード

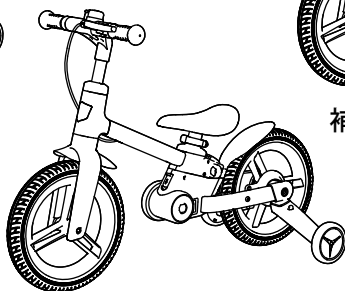
お子さまの上達度合いに合わせて使用モードをお選びください。



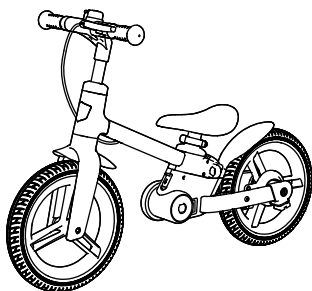
サポートバー・補助輪付き
自転車モード



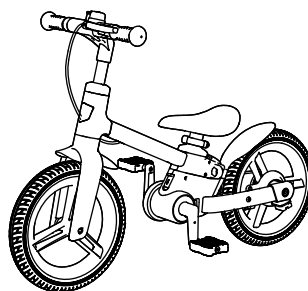
補助輪付き自転車モード



補助輪付きトレーニングバイクモード



トレーニングバイクモード

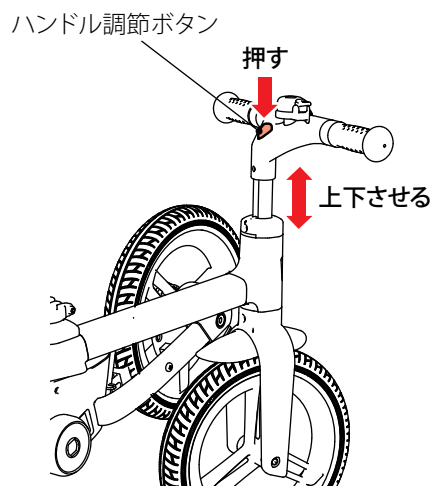
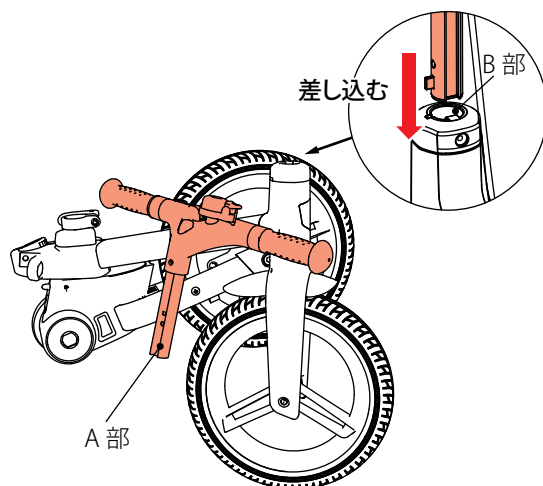


自転車モード

組立て方法

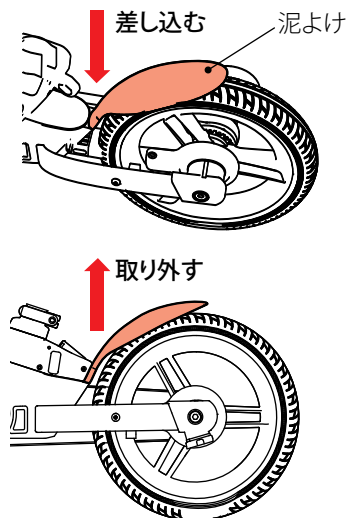
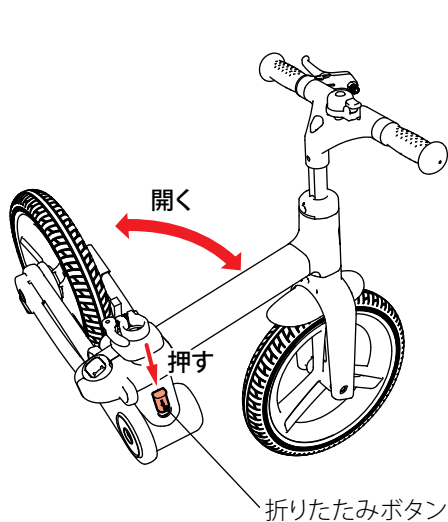
①ハンドルのA部を本体B部に合わせて“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

②ハンドルの高さは3段階で調節可能です。調節ボタンを押し、ハンドルを上下してください。

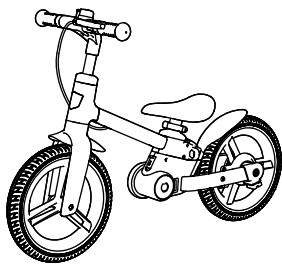


③折りたたみボタンを押しながら、本体を“カチッ”と音がするまで開いてください。

④泥よけを差し込んでください。取り外す際は、泥よけを上引き抜いてください。



トレーニングバイクモード

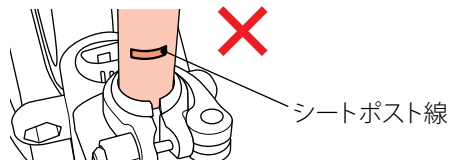


P7 からの①～④まで組み立ててください。

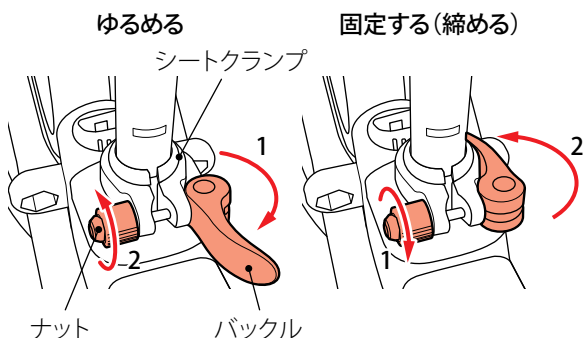
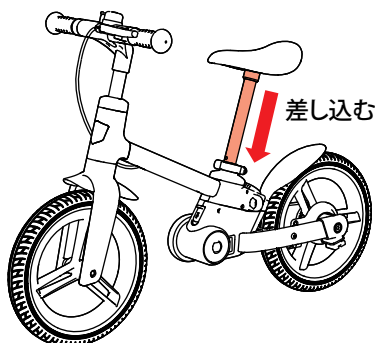


注意

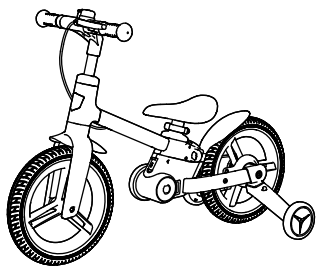
- ・シートポストの線が見える状態で固定しないでください。
- ・ナットを締めすぎるとバックルを閉じられませんが、ナットの締めすぎにご注意ください。



⑤シートクランプをゆるめサドルのシートポストを差し込んでください。適切な高さに調節し、シートクランプのナットとバックルで固定してください。

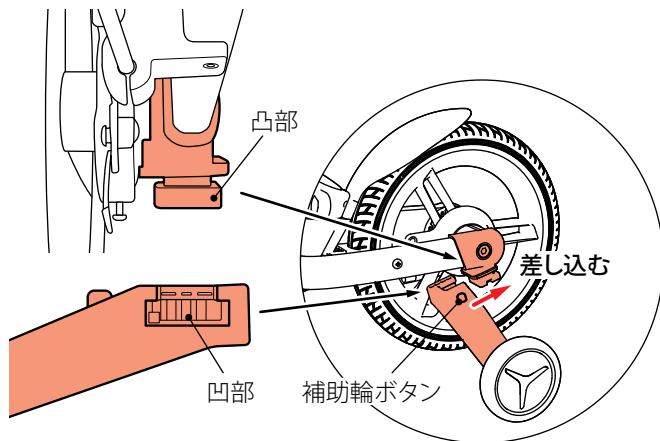


補助輪付き トレーニングバイクモード

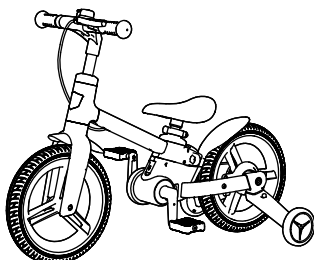


P7 からの①～⑤まで組み立ててください。

⑥本体の凸部と補助輪の凹部を合わせて補助輪を“カチッ”と音がするまで差し込んでください。取り外す際は、補助輪ボタンを押しながら手前に引き抜いてください。



補助輪付き自転車モード



サポートバー・補助輪付き
自転車モード

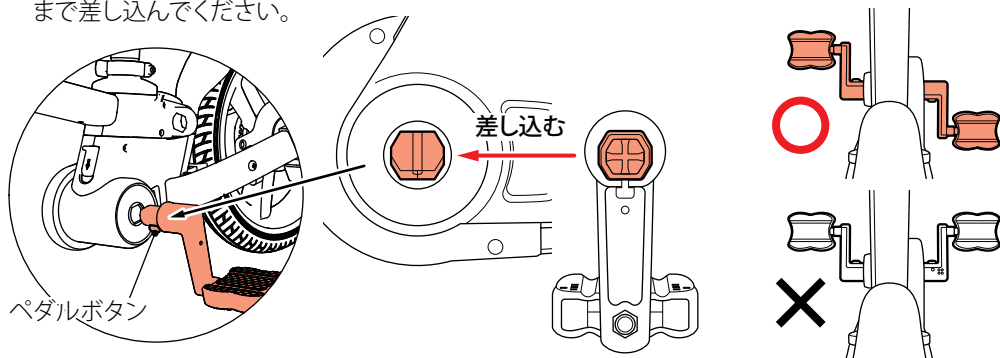


注意

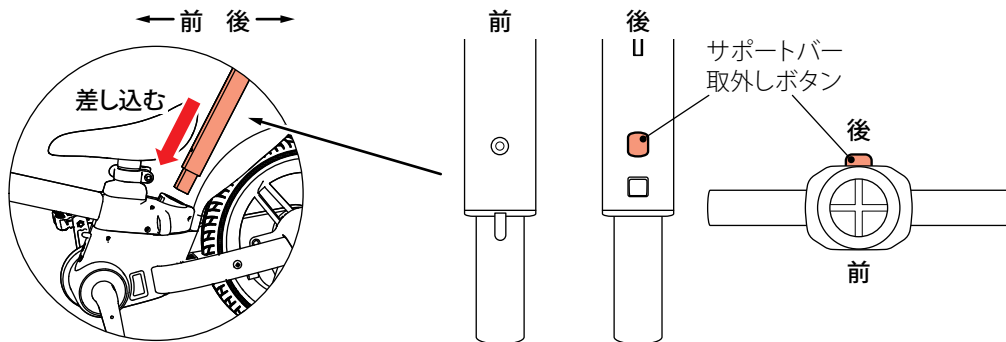
左右のペダルの取付け向きにご注意ください。取外す際は、ペダルボタンを押しながら引き抜いてください。

P7 からの①～⑥まで組み立ててください。

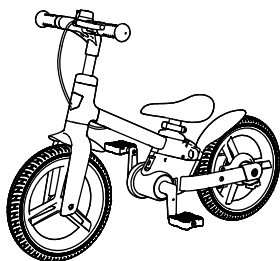
⑦ペダルの八角形と差し込み口の八角形を合わせて、ペダルボタンを押しながら“カチッ”と音がするまで差し込んでください。



⑧サポートバーの前後に注意して差し込み口に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。取外す際は、サポートバー取外しボタンを押しながら引き抜いてください。



自転車モード

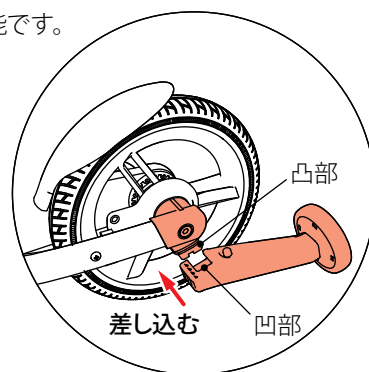
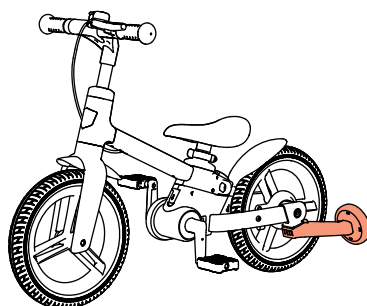


P7 からの①～⑧まで組み立ててください。

⑨補助輪とサポートバーを取外せば自転車モードになります。

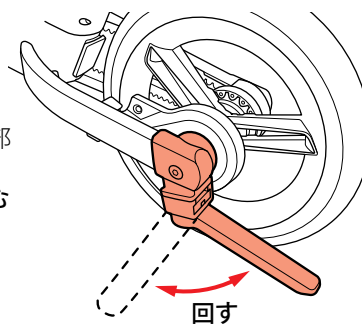
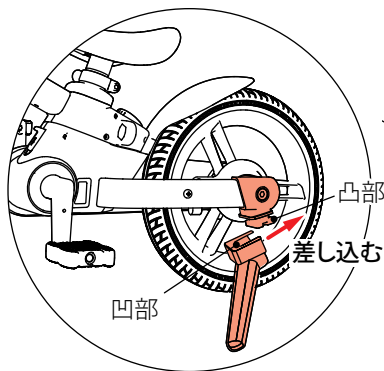
補助輪の収納

自転車モード時に補助輪を下図のように収納することも可能です。



キックスタンドの使いかた

自転車モード時キックスタンドの取付け可能です。本体の凸部とキックスタンの凹部を合わせて差し込んでください。取外す際は、少し力を加えて引き抜いてください。



折りたたみかた

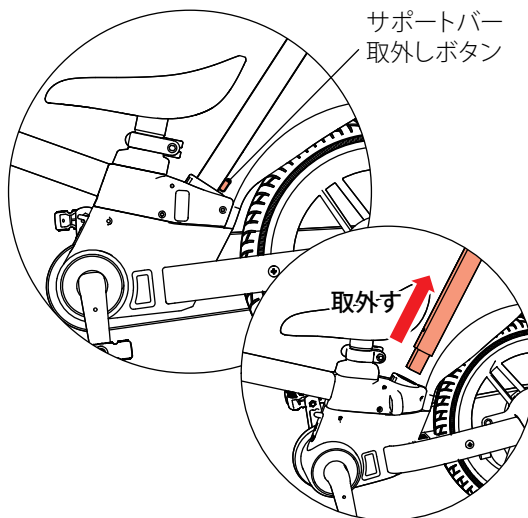
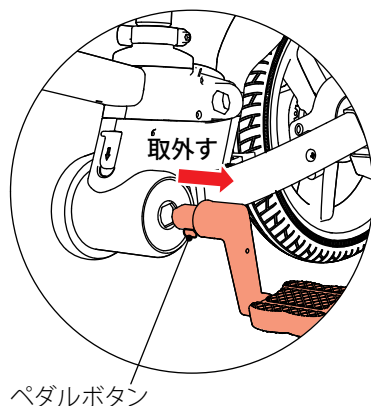
折りたたみ前の準備



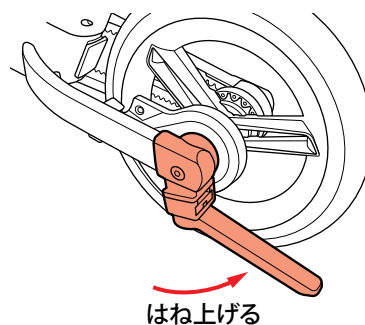
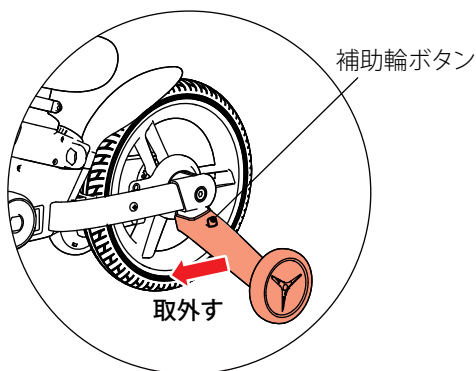
注意

サポートレバーは必ず取外してください。取付けた状態で折りたたみはできません。

- ①ペダルボタンを押しながらペダルを取外してください。 ②サポートバー取外しボタンを押しながらサポートレバーを取外してください。

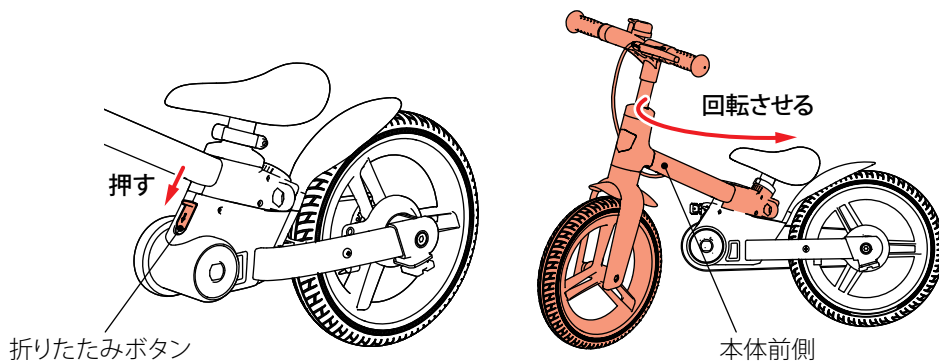


- ③補助輪をお使いの場合、補助輪ボタンを押しながら取外してください。 ④キックスタンドをお使いの場合、取外すか、後ろにはね上げた状態にしてください。

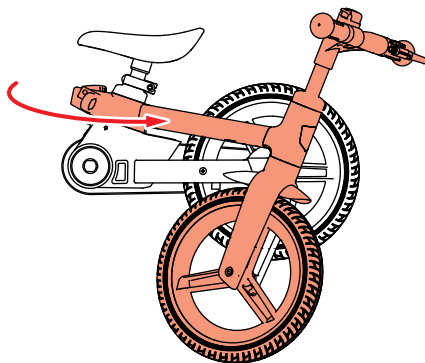


折りたたみかた

①折りたたみボタンを押しながら本体前側を反時計回りに回転させてください。



②本体が完全に折りたたみ、折りたたんだ状態でロックされたことを確認してください。



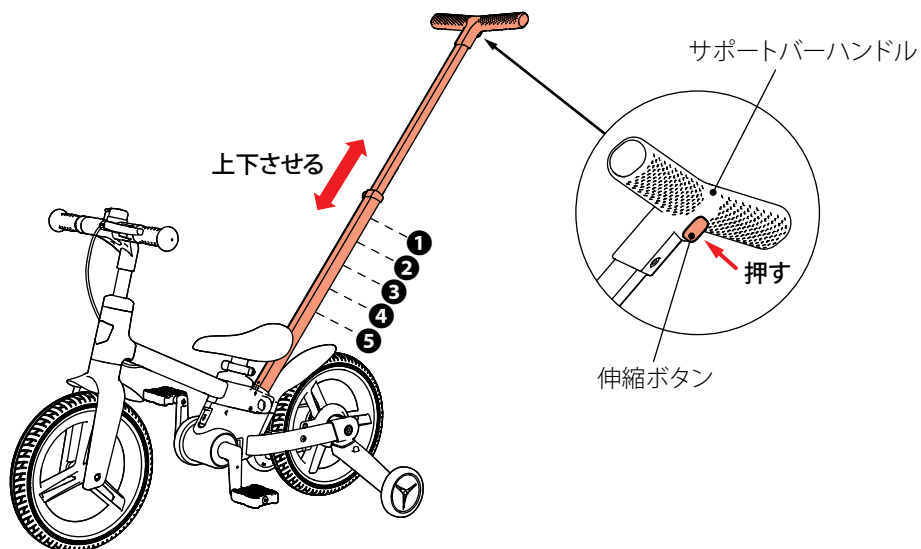
開きかた

開く手順は折りたたみの逆手順となります。

サポートバーの使いかた

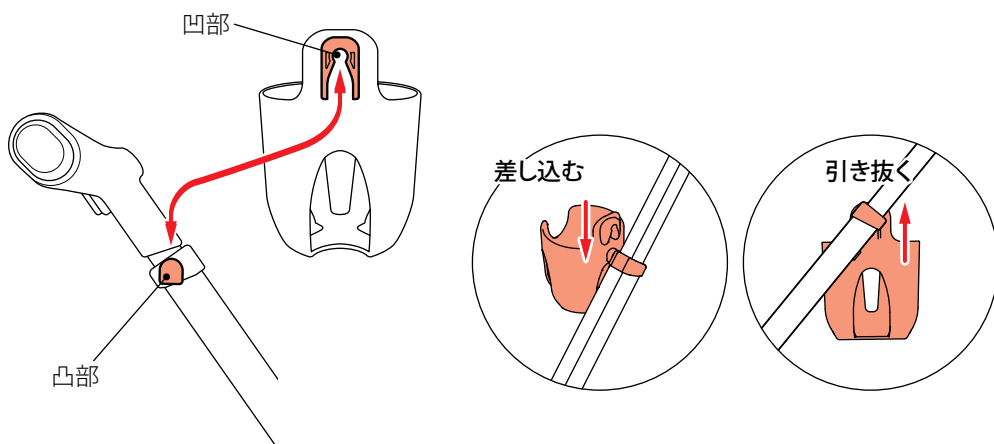
高さ調節

サポートバーの高さは5段階調節できます。サポートバーハンドル裏面の伸縮ボタンを押し、“カチッ”と音がするまでバーを上下させてください。



カップホルダーの取付け

サポートハンドル下の凸部にカップホルダーの凹部を合わせて、カップホルダーを上から差し込んでください。取外しの際は、カップホルダーを上引き抜いてください。



ブレーキの調節方法

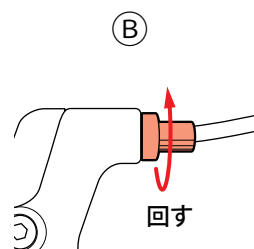
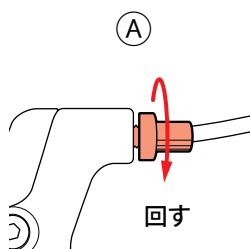
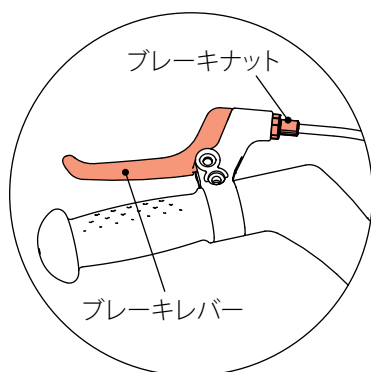
ご使用期間が長くなると、ブレーキの効きが悪くなることがあります。常に走行前に点検し、必要に応じてブレーキの調節を行ってください。



注意

- ・下記方法で解決しない場合は、自転車専門店にご相談ください。
- ・下記パーツ以外は絶対に触らないでください。

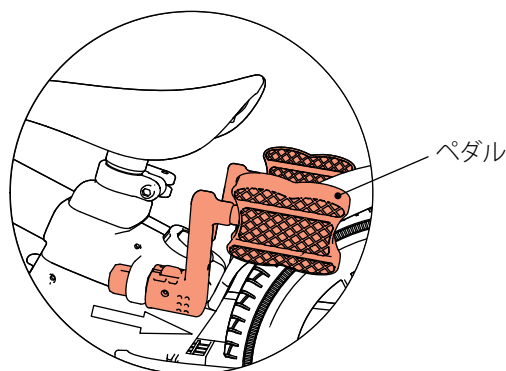
- ①ブレーキナットを反時計回りに回すと、ブレーキワイヤーの張りが強くなり①、時計回りに回すとブレーキワイヤーの張りがゆるくなります。②
- ②ブレーキレバーを引いて、あそびが少なくなり、ブレーキがよく効くまで調節してください。



その他

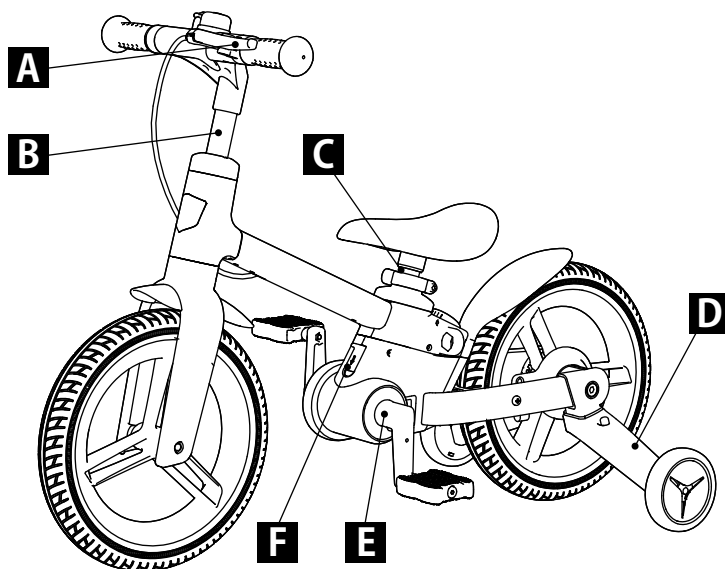
ペダルの収納

トレーニングバイクモード時に、ペダルを図のように収納できます。



走行前の点検ポイント

走行前にすべてのパーツに緩みやがたつきがないことをご確認ください。
※万一、破損やその他不具合が見つかった際は直ちに使用をやめてください。



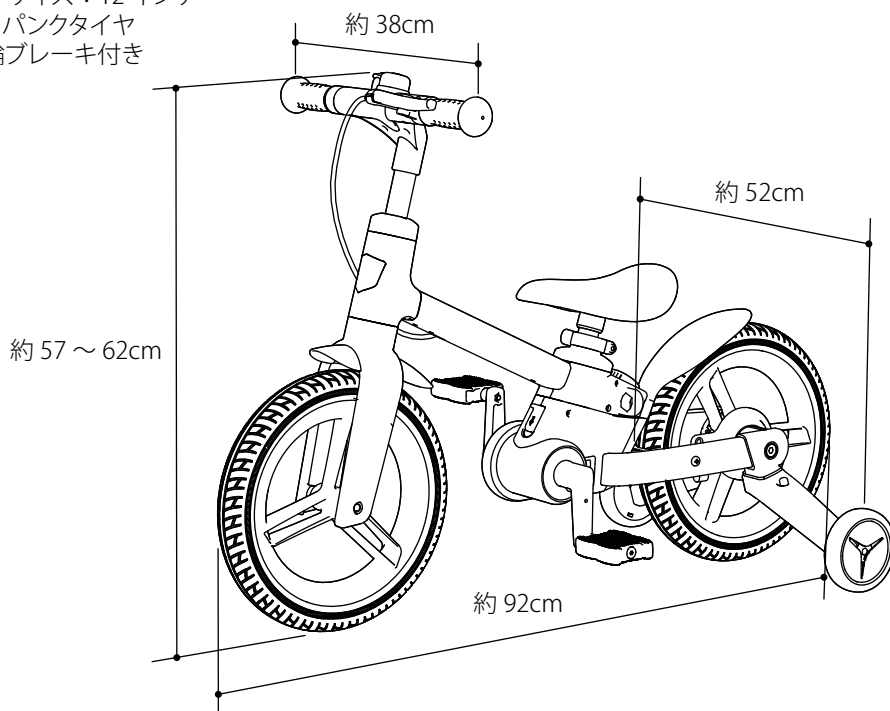
チェックリスト

- ☐ **A** ブレーキが十分効いていること。
- ☐ **B** ハンドルがしっかり固定されていること。
- ☐ **C** サドルがしっかり固定されており、シートポストの線が見えていない高さに調節されていること。
- ☐ **D** 補助輪（お使いの場合）がしっかり取付けられていること。
- ☐ **E** ペダルがしっかり取付けられていること。
- ☐ **F** 本体フレームが完全に開いた状態でロックされていること。

製品情報

本体サイズ・仕様

- ハンドル幅：約 38cm
高さ：約 57～62cm（サポートバー含まず）
長さ：約 92cm
補助輪幅：約 52cm
重さ（サポートバー含まず）：約 5.8kg
重さ（サポートバー含む）：約 6.2kg
フレーム素材：アルミ合金
タイヤサイズ：12 インチ
・ノーパンクタイヤ
・後輪ブレーキ付き



保管方法

- ・屋外で保管される際は、カバーをかけるなどして直射日光を避け、雨ざらしにならないよう注意してください。劣化や退色を早めるおそれがあります。
- ・高温多湿な場所での保管はおやめください。サビや劣化の原因になります。
- ・本製品の上に重い物を置かないでください。

廃棄方法

- ・お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。